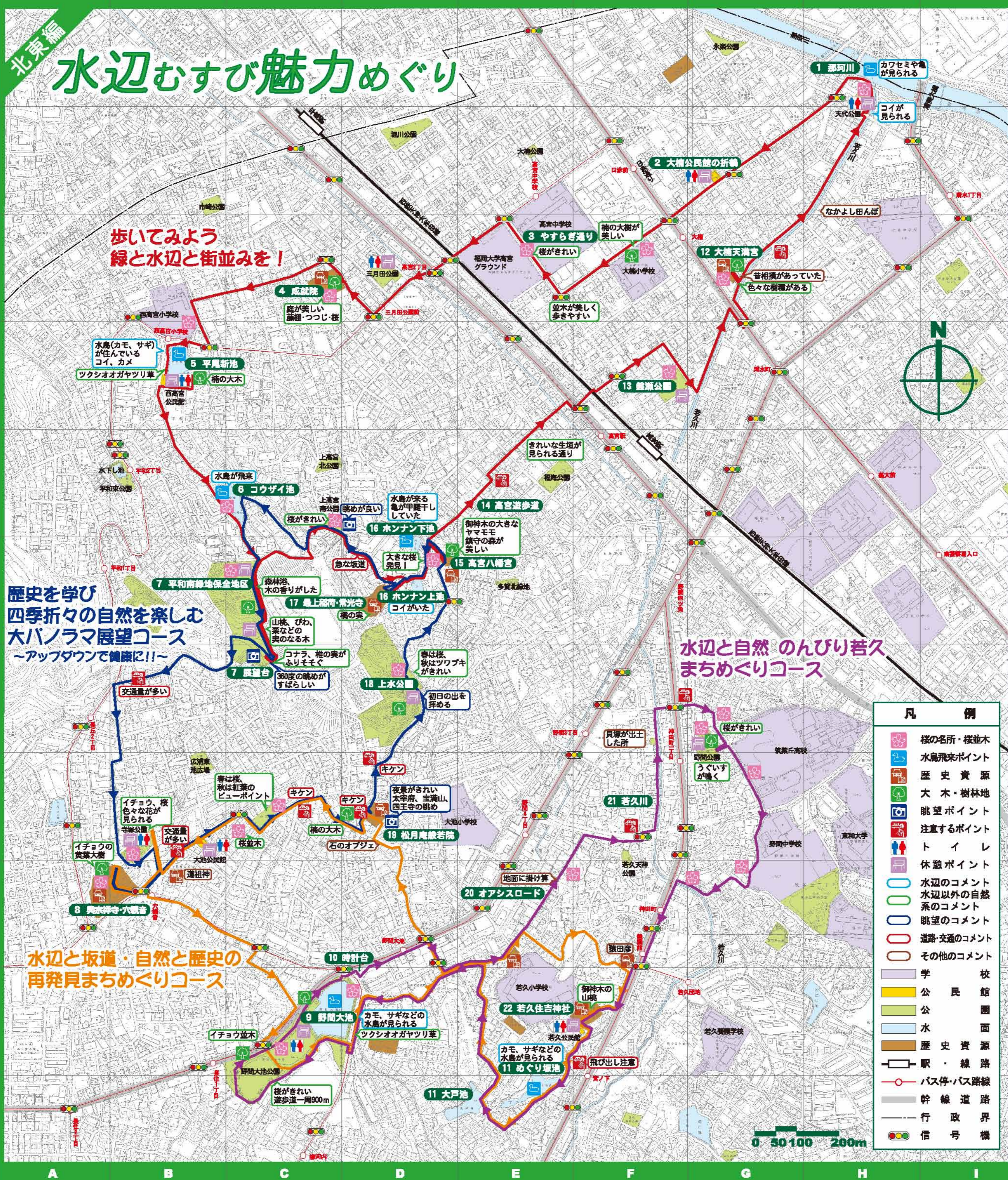


- 1 那珂川** **図H1**
背振山に源を発する那珂川は、市内の中心街を貫流し、市民に憩いと潤いの場を提供しています。全長は35kmで、河川敷を利用した緑地には、遊歩道が整備され、散歩やジョギング、釣りなど多くの市民でにぎわっています。また、カワセミやカモなどの水鳥を見ることがもできます。
- 2 大楠公民館の折鶴** **図G2**
大楠公民館の廊下に1万200羽の折鶴が飾られており、校区の名所の一つとなっています。この折鶴は平成12年に校区住民の「幸せと健康」を願い、地域の方々や小学生などによって折られたものを、平成19年の公民館創立50周年を機会に新しい折鶴に掛け替えられたものです。
- 3 やすらぎ通り** **図E3**
高宮中学校から堀川公園までの道路です。歩道はカラー舗装され、街路樹などの植栽も施されるなど、安全快適に歩けることから、多くの地域住民が散歩などに利用しています。また、高宮中学校と福岡大学グラウンドには桜並木があり、地域の桜の名所となっています。
- 4 成就院** **図C3**
成就院は、1200年前、盲目の僧侶玄清法印によって、はじめ四王寺坂本に草庵が建てられましたが、明治40年にここ高宮の地に移転され、天台宗別格本山として現在に至っています。境内の庭は美しく、春は桜、ツツジ、フジの花の名所としても多くの参拝者が訪れます。また、筑前琵琶の碑などもあります。
- 5 平尾新池** **図B4**
平尾新池は、平成16年度の治水池環境整備事業により、周囲に遊歩道が整備されるなど、水辺に親しめるような施設の整備が行われています。池では、県指定天然記念物ツクシオオガヤツリやハス、ガマなどの植物の種類も多く、カモなどの水鳥やカメ、コイなどの水辺の生きものも見ることが出来ます。
- 6 コウザイ池** **図C5**
コウザイ池は、平尾新池の南に位置する池であり、平尾新池はこの池から水を引いています。池の周囲は道路で囲まれており、一周することはできませんが、フェンスがあり、水辺に近づくことができません。桜の木が植えられており、水鳥も飛来してきます。
- 7 平和南緑地保全地区・展望台** **図C6,C7**
平和南緑地保全地区内には展望台があり、360度展望が開け、福岡市を一望することができます。緑地内は遊歩道が整備され、鳥のさえずりを聞きながら、緑の中を歩くと心が癒されます。また、隣接地には、市内に給水している高宮浄水場があります。
- 8 興宗禅寺・穴観音** **図A9,B9**
興宗禅寺は、元禄6年遠賀郡熊手村で庵寺になった寺号「興宗寺」を譲り受け、補陀山興宗寺としました。その後、曹洞宗の高僧山道白禪師を迎えて開山創立し、もっぱら福岡城鎮護の道場としました。穴観音は、約千四、五百年前の古墳で、石室奥壁に阿彌陀如来と観音、勢至の両菩薩が彫刻にしています。一般に穴観音と呼ばれて信仰されてきました。
- 9 野間大池** **図C10**
野間大池は、レンコン掘りと大雨時の洪水で有名でしたが、数年かけた整備により、桜をはじめ、四季折々の草花を楽しめる美しい公園として生まれ変わっています。ツクシオオガヤツリや、カモ、サギなどの水鳥、コイなどを見ることが出来ます。
- 10 時計台** **図D10**
野間大池交差点に、清水干渉線の道路改修とその沿線の電線架地中化の完成を記念して建てられました。時計台は、高さ9mの3本の石柱が3つの市道の方向を表現し、3本が寄り添い協力し合いながら繁栄していくイメージを表しています。3本の石柱をつなぐ部分に鐘があり、音楽によって時を告げます。
- 11 めぐり坂池・大戸池** **図E11**
これらの池はどちらも閑静な住宅地の中にあり、静かで落ち着いた雰囲気のある雰囲気のある池です。昔、この2つの池はつながっていたのではないかと言われています。めぐり坂池の周囲にはうっそうとした森やクロガネモチの大木が見られます。また、大戸池にはツクシオオガヤツリやヒメガマが群生しています。大戸池は通称「たいとり池」とも呼ばれています。



水辺むすび魅力めぐり

歩いてみよう
緑と水辺と街並みを!

歴史を学び
四季折々の自然を楽しむ
大パノラマ展望コース
~アップダウンで健康に!!~

水辺と自然のんびり若く
まちなめぐりコース

水辺と坂道・自然と歴史の
再発見まちめぐりコース

凡 例	
	桜の名所・桜並木
	水鳥飛来ポイント
	歴史・資源
	大木・樹林地
	眺望ポイント
	注意するポイント
	トイレ
	休憩ポイント
	水辺のコメント
	水辺以外の自然系のコメント
	眺望のコメント
	道路・交通のコメント
	その他のコメント
	学 校
	公 民 館
	公 園
	水 面
	歴 史 資 源
	駅・線路
	バス停・バス路線
	幹線道路
	行政界
	信号機

- 12 天橋天満宮** **図G3**
天橋天満宮は、菅原道真公が寒風の中で大宰府に向かう途中、この地、大楠で嘔吐をとりし、しばし休息したというゆかりの地であることから、建立された。昔は境内に土俵があり、子供たちの相撲大会が行われていました。
- 13 盤瀬公園** **図F4**
盤瀬公園は、住宅街の中にあり、都会のオアシスとして多くの人に利用されています。特に、桜の時期には木の下にいくつもの宴ができる知る人ぞ知る桜の名所となっています。
- 14 高宮遊歩道** **図E5**
高宮通りから鴻巣山に至る遊歩道の通称であり、地域住民をはじめとした多くの人の尽力により、市民の健康増進とコミュニケーションの場として設置されたものです。高宮通りから高宮八幡宮、最上稲荷、123の石段を登り、さらに平尾公園、クヌギ林を抜ける約3kmのコースです。
- 15 高宮八幡宮** **図D6**
高宮八幡宮の御祭神は玉依姫命、応神天皇、神功皇后の三方で、天智天皇が磐瀬の宮に行幸されたお祭りだと言われています。慶長7年に現在地に鎮座され、黒田藩時代は慶の神様としてあがめられました。現在は、高宮、大楠地区の氏神として信仰を集めています。
- 16 ホンナン上池・ホンナン下池** **図D6**
ホンナン上池(南側)には、水面に張り出した石碑があります。池の周囲には、桜の大木があり、見る人を楽しませてくれます。ホンナン下池(北側)は、周囲にフェンスがしてあります。池ではカメの甲羅干しなどが見られます。
- 17 最上稲荷・常光寺** **図D6**
最上稲荷は、神仏入り交じった鳥居がある珍しい寺院です。岡山の最上稲荷の分霊が安置され、奥の院には鴻巣山の守護神「安高天王」が祭られています。また、寄進された石塔や菩薩像がひっそりと点在しています。
- 18 上水公園** **図D7**
高台にある、森に囲まれた公園で、眺めがよく、初日の出などを拝むことができます。また、春には桜の名所として知られ、秋にはツツジが斜面一面に咲き、四季折々の草花で人々を楽しませてくれます。
- 19 松月庵般若院** **図D8**
黒田藩家老立花平左衛門の次男に生まれた立花美山が住吉に建立した松月庵を、昭和38年に博多駅に移転し、現在地に移転しました。また、高野山の般若院の寺号を移し、現在は松月庵般若院と称しています。
- 20 オアシスロード** **図E9**
若久校区では、地域住民が主体となって計画を立て、歩行者優先型の道路を面的に整備するコミュニティゾーン形成事業が行われました。その中の一部の道路では、歩道をカラー舗装するなど安心快適な歩行空間づくりが行われており、オアシスロードという名前が付けられています。
- 21 若久川** **図F8**
昭和の初期、那珂川がたびたび氾濫を起こすので、昭和8年、治水のため若久大木放水路を掘りました。それが、現在の若久川です。護岸はコンクリートでできているため、あまり植物などは見られませんが、那珂川との合流付近では、コイなども見られます。
- 22 若久住吉神社** **図F10**
若久住吉神社は、校区のほぼ中心にあり、地域住民の氏神として親しまれています。一説には、約380年前に、この付近のお金持の人たちがこの地をならして当時の国主、黒田長政によって、住吉三神と神功皇后、天神様となった菅原道真公のご神像を奉斎して造営されたものと伝えられています。